

共創学環

卒業認定・学位授与の方針 DP (ディプロマ・ポリシー)

◆人材育成の目的・学位授与の方針

共創学環は、産学官金連携による文理融合教育を通じて、地球規模の視野と地域の視点で考え行動し、共生共創する地域をデザインできる課題発見・設定・解決型人材並びに社会イノベーションを創出する人材の育成を目標としています。このことを踏まえ、教養教育にて修得する幅広い分野の知識を素地とし、本学が定める学修成果を達成すべく編成・実施された教育課程を学修し、所定の単位を修得した者に学士（学術）の学位を授与します。

○地域イノベーションコース

自治体や企業等の課題について実地研修を通して学び、人と地域環境に働きかけることで共生共創社会を創成していくための環境を整備するコーディネート力及びその課題解決能力を有し、それらを駆使して様々な課題解決に貢献し、社会イノベーションを担う人材の育成を目指しています。このことを踏まえ、本学が定める学修成果を達成すべく編成・実施された教育課程において、所定の単位を修得し、以下に示す資質・能力を身に付けた者に学士の学位を授与します。

- ・地域社会の持続可能な発展に高い関心を持ち、積極的かつ主体的に共創を実践できる。
- ・背景や考え方が異なる人と進んで協力し、共に問題の解決に取り組むことができる。
- ・課題の検討や課題の将来的な解決に必要となる、様々な文理融合的な知識や技能を主体的に探究することができる。

○グローバルイノベーションコース

海外での活動等を通じて、異なる価値観の人々や多様な文化・専門分野の人々と連携して職務を遂行するために必要な教養を学び、地域間の課題をグローバルに解決する能力を有し、それらを駆使して様々な課題解決に貢献し、社会イノベーションを担う人材の育成を目指しています。このことを踏まえ、本学が定める学修成果を達成すべく編成・実施された教育課程において、所定の単位を修得し、以下に示す資質・能力を身に付けた者に学士の学位を授与します。

- ・国際協調を基本として、国際社会における様々な地域課題の解決に向けて、強い意欲と高度な語学力を持って積極的かつ主体的に共創を実践できる。
- ・背景や考え方が異なる人と進んで協力し、共に問題の解決に取り組むことができる。
- ・課題の検討や課題の将来的な解決に必要となる、様々な文理融合的な知識や技能を主体的に探究することができる。

学修成果

豊かな教養

- ・文化や社会、自然や生命に関する高い関心と一般的理解を持っている。
- ・多様な価値観と異なる思考様式に対する理解を持っている。
- ・主体的な学修態度と判断力を備えている。

確かな専門性

- ・豊かな教養に基づき、幅広い視野で社会システムの変化を捉え、多面的な視野・知識・技能により、企業や自治体等をマネジメントできる力を備えている。
- ・あらゆるステークホルダーと連携し、社会が抱える課題を発見し、課題解決に取り組む力を備えている。
- ・課題発見・解決のために多様なデータを収集・分析し、論理的に結論を導き出す力を備えている。
- ・社会に新しい価値を生み出し、持続可能な社会システムの実現に貢献できる力を備えている。
- ・自身の能力と発想を組み合わせ、事業性と社会性を実現するイノベーションを構築して社会実装する力を備えている。

創造的な知性

- ・課題発見・解決のために必要な調査・研究及び実践に個人やチームで取り組み、その成果を論理的に発表・討議する能力を持っている。
- ・様々な情報を活用し、社会イノベーションを創出するために必要な企画提案する力を持っている。

社会的な実践力

- ・地域や国際社会との関わりの中で、地球規模の視野と地域の視点で考え、あらゆるステークホルダーと連携し、実社会で展開・実行することができる。
- ・産学官金との連携による社会的実践教育を通じて、経営する力、起業する力を備えている。

グローバルな視野

- ・異文化理解や国際社会に関心と深い理解を持ち、広い視野から物事を理解できる。
- ・外国語（英語、中国語、韓国語等）によるコミュニケーション力を身に付けている。

情報通信技術の活用力

- ・情報を収集・整理し分析を行い、課題解決や企画立案に応用できる。
- ・情報セキュリティに関する高い意識と深い理解を持っている。

汎用的な知力

- ・高いコミュニケーション能力と高度なコーディネート力により、多様な立場の人たちと協力し、課題解決に取り組むことができる。
- ・豊かな表現力と明解な論理・構成力を用いて、説得力のある明晰な文章を作成することができる。

教育課程編成・実施の方針 CP (カリキュラム・ポリシー)

①教育課程編成の方針

共創学環は、「実践的な課題解決×文理融合」のカリキュラムを構築し、フィールドワークを中心に学際的な思考力や実践的な課題解決能力を身に付け、社会イノベーションを創出する人材を養成するために必要な教育課程を編成しています。1・2年次には、主に幅広い知識や多様な考え方・アプローチ・方法を獲得・理解するための教養教育科目並びに共創学環での学修の基盤となるモノの考え方や見方、研究手法、技能等を学ぶ「共創基盤科目」を配置し、2年次から本格的に始まる専門教育では、課題解決のために必要な素養となる「共創専門科目」、課題解決に多様な立場の人と共に取り組むフィールドワークを含むチーム型学習を行う「共創プロジェクト科目」を配置しています。

○地域イノベーションコース

体系性：教養教育科目及び演習科目に加えて、人間科学、社会人間学、地域科学、歴史、コミュニケーション、多文化共生、経営、経済、公共政策、データサイエンス、自然科学、生命科学の幅広い分野から構成される文理融合の専門科目群をもうけ、多面的な視野・知識・技能や実践的な課題解決能力が身に付くように編成しています。また、演習科目を通じて産学官金との連携による社会実践教育を行い、経営する力・起業する力が身に付くように編成しています。

段階性：基礎的な科目から学年進行に沿って応用的・発展的な科目を学修するよう編成しています。

個別化（進路への対応）：共創基盤科目に配置する「共創キャリアデザイン」や共創プロジェクト科目を通じて、将来の進路に即した専門性が身に付けられるよう編成しています。

○グローバルイノベーションコース

体系性：教養教育科目及び演習科目に加えて、人間科学、社会人間学、地域科学、歴史、コミュニケーション、多文化共生、経営、経済、公共政策、データサイエンス、自然科学、生命科学の幅広い分野から構成される文理融合の専門科目群をもうけ、多面的な視野・知識・技能や実践的な課題解決能力が身に付くように編成しています。また、演習科目を通じて海外研修を実施しグローバルの視点で課題解決に取り組むことで、新しい社会の価値や仕組みを構想する力が身に付くように編成しています。さらに、共創専門科目に語学力の向上を目的とした授業科目を置き、実践的な外国語（英語、中国語、韓国語等）運用能力を身に付けられるよう編成しています。

段階性：基礎的な科目から学年進行に沿って応用的・発展的な科目を学修するよう編成しています。

個別化（進路への対応）：共創基盤科目に配置する「共創キャリアデザイン」や共創プロジェクト科目を通じて、将来の進路に即した専門性が身に付けられるよう編成しています。

②教育課程における教育・学習方法に関する方針

講義・演習・実験・実習等、様々な方法・形態を適切に組み合わせた授業を開講して、学生が主体的・能動的に学ぶことにより、実践的な課題解決能力を身に付けることができます。加えて、グローバルイノベーションコースでは、実践的な外国語（英語、中国語、韓国語等）運用能力を身に付けることができます。

③学修成果の評価の方針

カリキュラム・ポリシーに沿って実施される各授業科目の学修成果、取得単位数、GPA 及び外部試験の得点等を可視化することによって、教育課程全体を通じた学修成果の達成状況を測定・評価します。

学修成果の「評価方法・基準」は、開講科目毎にシラバスに示す学修目標等の達成状況から、筆記試験、レポート試験、演習への積極的な参加等によるものとし、評価は、科目の特性に応じて公正かつ的確に実施します。

入学者受入れの方針 AP（アドミッション・ポリシー）

◆求める学生像

現代社会には、早期に解決することが困難な課題が数多く存在します。社会課題は地域社会から国際社会まで存在し、これらの課題解決には、社会を構成する多数の人たちが協力し、解決へと導く大きな力を生み出し、持続可能な社会を共に創ることが重要になります。これらのことを踏まえ、地域社会から国際社会に至る様々な課題解決に貢献し、社会イノベーションを担うことのできる次のような人を求めます。

1. 地域社会から国際社会に至る様々な課題の解決に関心を持ち、新しい価値創出に挑戦しようとする意欲が高い人
2. 課題解決に必要な知識や技能を主体的に探究し、身に付けようとする意欲が高い人
3. 背景や考え方が異なる人と進んで協力し、共に問題の解決に取り組むことへの強い意欲を持っている人
4. 営利・非営利を問わず、組織体の経営や起業することに深い関心を持っている人
5. 語学力（英語、中国語、韓国語等）を高め、外国語によるコミュニケーション力を身に付けようとする意欲が高い人

◆入学者選抜の基本方針

共創学環では、アドミッション・ポリシーに適合する人材を選抜するために、一般選抜、総合型選抜及び学校推薦型選抜 I を実施し、多様な人材を積極的に受け入れることを目指しています。

- ◎ 一般選抜（前期日程）では、「知識・技能」については、大学入学共通テストを利用して高等学校の教育課程の教科・科目に関する総合的な学力を判定します。個別学力検査では、「思考力・判断力・表現力等の能力」を判定します。また「主体性を持って多様

な人々と協働して学ぶ態度」については調査書により評価します。以上の判定結果を総合して入学者を選抜します。

- ◎ 総合型選抜Ⅱ（Kumamoto 探究入試【プレゼンテーション型】）では、「知識・技能」については、大学入学共通テストを利用して高等学校の教育課程の教科・科目に関する総合的な学力を判定します。「思考力・判断力・表現力等の能力」及び「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」については、出願書類による審査及び面接を課し、学力・能力、勉学意欲及び志望動機を総合的に評価し、それらの結果から入学者を選抜します。また、面接（プレゼンテーション形式を含む）では「学力の3要素」すべてを総合的に評価します。
- ◎ 総合型選抜Ⅰ（Kumamoto 探究入試【地域課題解決挑戦型】、【グローバルリーダー育成型】）では、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等の能力」及び「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」については、課題解決セミナー、出願書類による審査及び面接を課し、学力・能力、勉学意欲及び志望動機を総合的に評価し、それらの結果から入学者を選抜します。
- ◎ 総合型選抜Ⅰ（国際バカロレア入試）では、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等の能力」及び「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」については、出願書類による審査及び面接を課し、学力・能力、勉学意欲及び志望動機を総合的に評価し、それらの結果から入学者を選抜します。
- ◎ 総合型選抜Ⅰ（海外在住者入試）では、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等の能力」及び「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」については、出願書類による審査及び面接を課し、学力・能力、勉学意欲及び志望動機を総合的に評価し、それらの結果から入学者を選抜します。
- ◎ 総合型選抜Ⅰ（帰国生徒入試）では、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等の能力」及び「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」については、出願書類による審査、小論文及び面接を課し、学力・能力、勉学意欲及び志望動機を総合的に評価し、それらの結果から入学者を選抜します。
- ◎ 総合型選抜Ⅰ（私費外国人留学生入試）では、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等の能力」及び「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」については、日本学生支援機構が実施する日本留学試験、小論文及び面接を課し、本学入学後の学修に必要な基礎的知識及び日本語能力を評価するとともに、論理的な思考力、表現力、勉学意欲及び志望動機を総合的に評価し、それらの結果から入学者を選抜します。
- ◎ 学校推薦型選抜Ⅰでは、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等の能力」及び「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」については、出願書類による審査、小論文及び面接を課し、学力・能力、勉学意欲及び志望動機を総合的に評価し、それらの結果から入学者を選抜します。